https://www.facebook.com/wagasa.co.jp

本日は Vol.2 をお届けいたします。 2015年に発刊しました、

とが分かりました。 画家と和傘

意外なことに、ダリの使っていた和傘があるこ

から贈呈された和傘があるとのこと。 現地のダリ・ミュージアム担当者によると、 ダリ美術館に日本のとある新聞局

されてきたそうです。 ダリ自身の家のデコレーションに使用 自身で差されて海岸を歩

展示用の作品を製作する事になりました。 ただき、出来るだけ当時の和傘を詳細に再現した きたこの傘。 50年以上も月日がたち、破損がひどくなって この度、 ダリ美術館様からご依頼い

傘全面に京友禅の技法で見事な絵付けが施されて を行ったのですが、驚くべきことに現在弊社で製 と空想しつつ、 いました。ひょっとして三代目が製作した物かも 作している京和傘の特徴に非常に似ており、 ダリ美術館を訪問し、 製作の準備を始めています。

世紀の芸術家と繋がった、日本の和傘。 ご期待ください

ダリと和傘(ポスタ が販売されています)

日吉屋広報部までご一報くださいませ、

日吉屋通信

爽秋の候、 皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日吉屋の工房の様子や新たな取り組みをご紹介する定期便 「日吉屋通信」。

芸術の秋の出来事

シュルレアリスムの代表的な作家で、

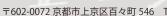
数々の奇行や逸話まで語られ

















※本件、ドキュメンタリーとして映像に残して メディア様を募集しております

お問合先:(株) 日吉屋 広報部 〒602-0072 京都市上京区百々町 546 TEL:075-441-6644 / FAX:075-441-6645 / mail:info@wagasa.com / web:http://www.wagasa.com